

2020年度 JKA補助事業（競輪）による整備機器の紹介

1 補助事業の概要

広島市工業技術センターは広島市域における中小企業の技術力の高度化、研究開発力の強化を通じて新たな事業展開を行うため、中小企業では整備困難な機器を導入して、技術支援を行っています。本事業で工業技術センターの機能強化を図るため「三次元 CAD システム」及び「炭素・硫黄分析装置」を導入しました。

2 予想される事業実施効果

三次元 CAD システムを導入したことにより、対応可能なデータ形式が広がり、データの受け渡しにおいて幅広い対応が可能となりました。また、機構解析や形状最適化など以前は対応できなかった解析ができるようになりました。

炭素・硫黄分析装置を導入したことにより、従来機器よりも分析精度が向上し、金属材料の評価に精密なデータを提供できるようになりました。また、ハロゲントラップを有しており、ハロゲン含有材料の測定が可能になりました。

3 本事業により導入した設備

(1) 三次元 CAD システム

工業製品などの 3D モデル作成や組み立てを行います。また、3D モデルに対して、使用条件や環境条件を設定し、強度や共振周波数など、様々な評価を行うことができます。製品開発を支援するために導入しましたので、依頼試験にて御活用ください。

[型式]

Siemens Digital Industries Software 社
Solid Edge Classic
Solid Edge Simulation Advanced.
Simcenter FLOEFD for Solid Edge

[主な仕様]

- 設計機能
 - ・ 3D モデルの作成
 - ・ 上記部品の組み立て
- 解析機能
 - ・ 線形構造解析
 - ・ 固有値解析及び周波数応答解析
 - ・ 座屈解析
 - ・ 形状の最適化
 - ・ 機構解析
 - ・ 伝熱解析
 - ・ 熱流体解析



写真 三次元 CAD システム

(2) 炭素・硫黄分析装置

炭素・硫黄分析装置は、金属材料をはじめとする各種材料の特性に大きく影響を及ぼし、重要な元素である炭素と硫黄を、高精度に定量分析を行う装置です。信頼性の高い製品の製造や技術開発を支援するため、新規導入しましたので、依頼試験にて御活用ください。

[型式]

株式会社堀場製作所製 EMIA-Expert

[主な仕様]

炭素・硫黄分析装置

- ・測定方式：酸素気流中高周波加熱・燃焼、赤外線吸収法
- ・測定範囲：炭素 0.6ppm～10.0%、硫黄 0.6ppm～1.0%
- ・ハロゲントラップ有
- ・付属品として切断機を整備



写真 炭素・硫黄分析装置

4 事業内容についての問い合わせ先

団体名： 公益財団法人 広島市産業振興センター

住所： 〒730-0052 広島市中区千田町三丁目8番24号

代表者： 理事長 住田 雄二

担当部署： 工業技術センター技術振興室

担当者名： 桑原 修

電話番号： 082-242-4170

F A X： 082-245-7199

E-mail： kougi@itc.city.hiroshima.jp (@を半角に変更してください)

URL： <http://www.itc.city.hiroshima.jp/>